

国頭村におけるウミガメの道路侵入防止対策について

沖縄総合事務局
北部国道事務所



【対策の背景・目的】

北部国道事務所では、やんばるの生き物たちを守る道づくりとして、これまで小動物等のロードキル（道路による影響で野生動物が死亡すること）対策を実施しております。

平成27年8月16日に国道58号大宜味村喜如嘉でウミガメが道路に侵入し車に轢かれた事故を受け、再発防止するために、国頭村から大宜味村の国道58号において、ウミガメが道路に侵入する恐れのある箇所対策を実施しました。

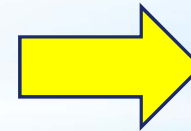
【対策の概要】

歩道と海岸の間に、ウミガメ（親ガメ）が通り抜けることができない間隔（約40cm程度）でソフトポールを設置するとともに、仔ガメ対策として、約10cmの段差を設置しました。

ソフトポールは、地域行事や災害時の対応に支障とならない様、着脱式としています。



【対策前】



ウミガメの道路侵入防止対策として、ソフトポールと、段差を設置。



【対策後】

ロードキル再発防止と、道路利用者の安全性向上の取り組みとして実施しておりますので、ご理解とご協力の程、宜しくお願いいたします。

【問い合わせ先】 沖縄総合事務局 北部国道事務所 調査課 TEL:0980-52-4350 FAX:0980-52-1680